

新型コロナウイルス感染症に係る発生状況等について

1 岩手県内の患者の発生状況等

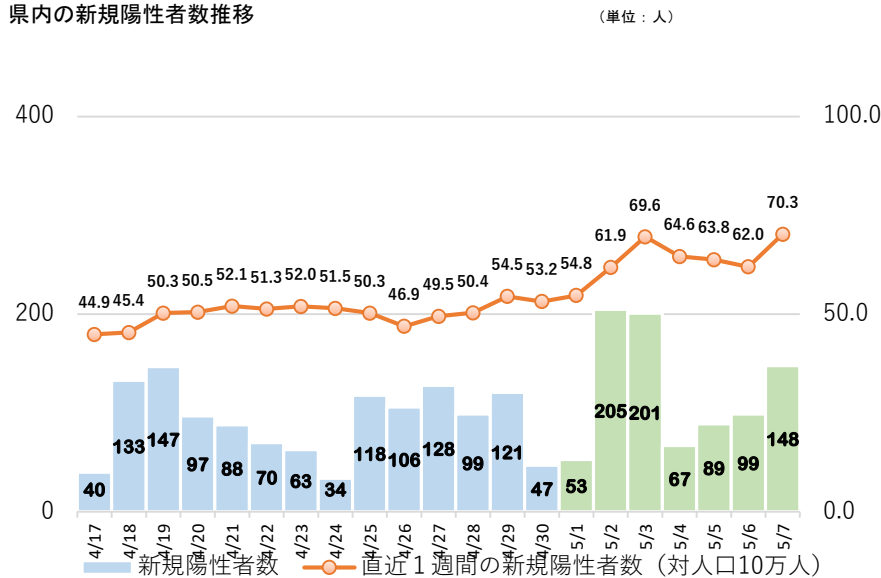
(1) 県内の患者の入退院等の状況

5月7日 12時時点

累計患者数	病床使用数	重症者数	宿泊療養者数	死亡者数
237,996人 (+148)	33人 (0)	1人 (0)	9人 (+1)	625人 (+1)

() は前日からの増減数

(2) 県内の新規陽性者数推移



(3) 年代別の新規陽性者数

(単位：人)

公表日	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	不明	合計
5/7	12	15	17	21	22	27	19	5	7	3	0	148

(4) 保健所管内別の新規陽性者数

保健所名	4月3日 ～ 4月9日	4月10日 ～ 4月16日	4月17日 ～ 4月23日	4月24日 ～ 4月30日	5月1日 ～ 5月7日	累計
県央	86人	45人	57人	44人	55人	27,837人
中部	35人	25人	54人	66人	105人	42,682人
奥州	33人	53人	49人	86人	113人	24,336人
一関	130人	66人	64人	57人	44人	18,799人
大船渡	47人	67人	70人	82人	64人	7,507人
釜石	7人	20人	13人	20人	19人	6,524人
宮古	17人	20人	82人	44人	57人	9,308人
久慈	13人	14人	10人	12人	20人	8,886人
二戸	24人	16人	10人	13人	20人	7,583人
盛岡市	83人	117人	143人	133人	197人	61,315人
登録センター	74人	88人	86人	96人	168人	23,219人
計	549人	531人	638人	653人	862人	237,996人

※9/27以降は届出した医療機関の所在地を管轄する保健所等ごとに集計

(5) 県内の行政検査件数

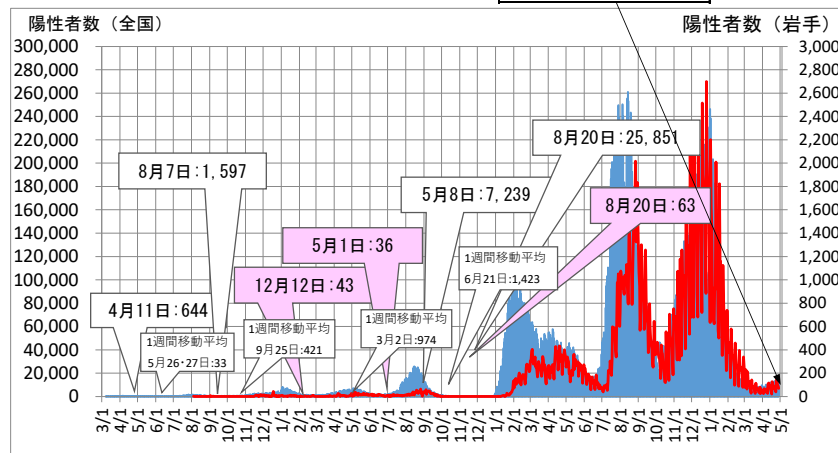
(単位：件)

検査結果判明日	4/30 (日)	5/1 (月)	5/2 (火)	5/3 (水)	5/4 (木)	5/5 (金)	5/6 (土)	累計*
環境保健 研究センター	0	0	0	0	0	0	0	40,925
民間検査機関 医療機関	127	754	1,136	672	81	147	261	702,097
合計	127	754	1,136	672	81	147	261	743,022
ウイルス検出数	53	205	201	67	89	99	148	237,996

※累計：令和2年2月13日からの累計

2 全国の患者の発生状況等

(1) 全国の新規陽性者数推移



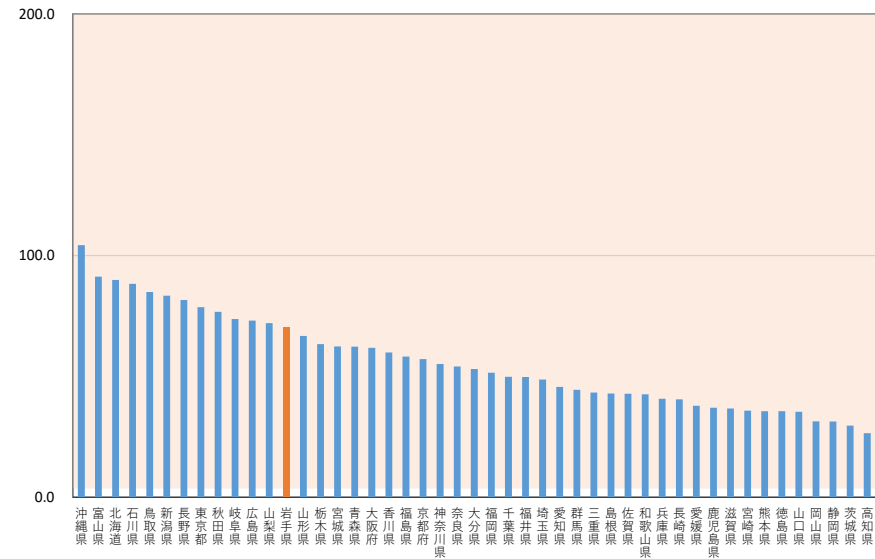
(2) 東北地方の新規陽性者数

県名	(単位:人)					累計
	4月3日 ~ 4月9日	4月10日 ~ 4月16日	4月17日 ~ 4月23日	4月24日 ~ 4月30日	5月1日 ~ 5月7日	
青森県	588	598	814	883	776	281,970
岩手県	549	531	638	653	862	237,996
宮城県	993	1,041	1,215	1,462	1,438	542,789
秋田県	556	548	656	786	741	203,296
山形県	748	684	826	849	719	231,180
福島県	886	990	1,042	1,040	1,075	410,506

(3) 全国の新規陽性者数

都道府県	患者数	長野県	278	岡山県	122
北海道	658	富山県	212	広島県	433
青森県	127	石川県	214	山口県	114
宮城県	293	福井県	88	徳島県	66
秋田県	133	愛知県	863	香川県	150
山形県	117	岐阜県	306	愛媛県	105
福島県	188	静岡県	185	高知県	40
東京都	2,345	三重県	102	福岡県	685
神奈川県	886	大阪府	1,098	佐賀県	87
埼玉県	774	兵庫県	424	長崎県	114
千葉県	709	京都府	267	熊本県	133
茨城県	106	滋賀県	113	大分県	121
栃木県	266	奈良県	159	宮崎県	95
群馬県	175	和歌山県	52	鹿児島県	168
山梨県	97	島根県	66	沖縄県	249
新潟県	384	鳥取県	105	岩手県	148

(4) 全国の直近1週間の新規陽性者数(対人口10万人): 5月1日~5月7日



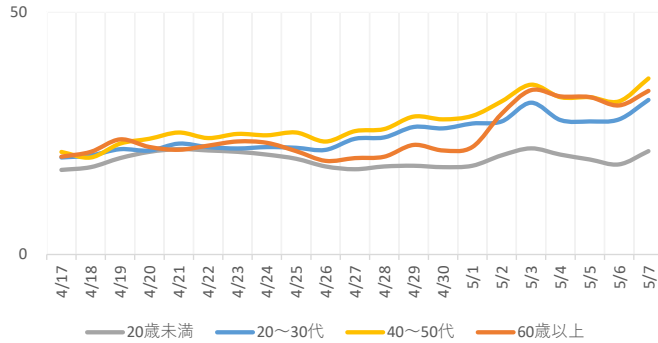
都道府県	10万人あたり 陽性者数	1週間前との増減	宮城県	62.4	↓	△ 1.0	島根県	42.9	↗	12.8	
沖縄県	104.3	↗	6.6	青森県	62.3	↓	△ 8.6	佐賀県	42.8	↗	12.7
富山県	91.3	↓	△ 10.6	大阪府	61.8	↗	2.6	和歌山県	42.6	↗	0.5
北海道	89.9	↓	△ 15.2	香川県	59.9	↗	4.1	兵庫県	40.7	↓	△ 5.2
石川県	88.3	↗	6.5	福島県	58.2	↗	1.9	長崎県	40.5	↗	7.3
鳥取県	84.9	↗	25.5	京都府	57.1	↓	△ 1.9	愛媛県	37.8	↓	△ 8.6
新潟県	83.4	↓	△ 3.8	神奈川県	55.1	↓	△ 1.2	鹿児島県	37.0	↗	10.3
長野県	81.6	↗	2.6	奈良県	54.1	↓	△ 5.1	滋賀県	36.7	↓	△ 9.6
東京都	78.6	↗	4.0	大分県	53.0	↗	8.2	宮崎県	35.8	↗	1.8
秋田県	76.7	↓	△ 4.7	福岡県	51.5	↗	8.0	熊本県	35.6	↗	2.3
岐阜県	73.7	↓	△ 0.9	千葉県	49.8	↓	△ 1.5	徳島県	35.6	↗	8.7
広島県	73.1	↗	3.8	福井県	49.7	↓	△ 13.3	山口県	35.3	↓	△ 0.6
山梨県	72.0	↓	△ 3.7	埼玉県	48.7	↓	△ 3.9	岡山県	31.4	↓	△ 1.2
岩手県	70.3	↗	17.1	愛知県	45.6	↗	3.8	静岡県	31.3	↓	△ 5.2
山形県	66.7	↓	△ 12.1	群馬県	44.4	↓	△ 5.0	茨城県	29.6	↓	△ 10.6
栃木県	63.3	↗	12.7	三重県	43.3	↓	△ 6.3	高知県	26.5	↗	2.0

増加傾向にある自治体数

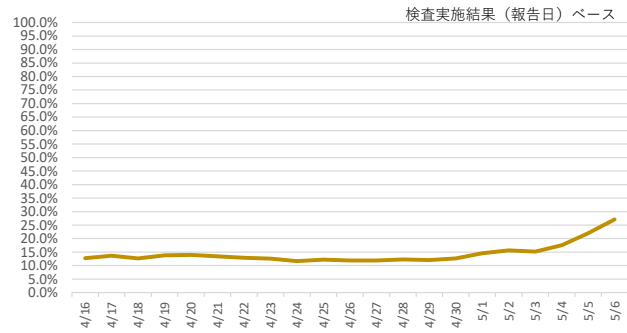
23 / 47

3 感染の状況や医療ひっ迫の状況等を評価するための指標

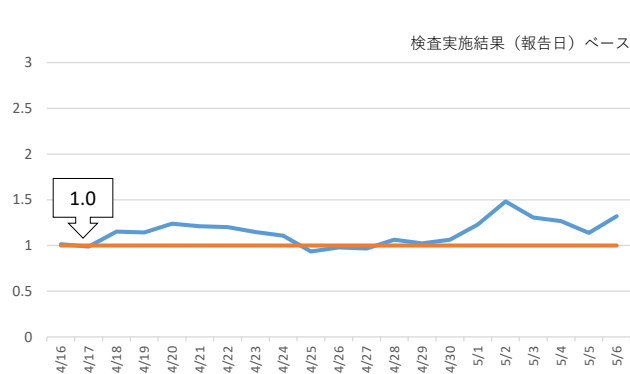
(1) 年齢階層別新規陽性者数（1週間移動平均）（4月17日 から 5月7日まで）



(2) 陽性率（1週間移動平均）（4月16日 から 5月6日まで）



(3) 今週先週比（新規陽性者数）（4月16日 から 5月6日まで）



(4) 主な指標の状況

5月7日時点

指標				岩手県
医療提供体制の負荷	①医療のひっ迫具合	入院医療	確保病床の使用率	7.2% (+1.2) (33/460床)
		重症者用病床	確保病床の使用率	2.9% (▲0.1) (1/34床)
感染の状況	②陽性率（直近1週間）			27.1% (+15.1) (862/3178人)
	③新規陽性者数（対人口10万人・直近1週間）			70.3人 (+17.0) (実数862人)

R4.12.26から確保病床数
435→460に変更

※（ ）は、前週差。また、入院率は療養者数（対人口10万人）が10人以上の場合に適用。

岩手県における新レベル分類の運用について

オミクロン株に対応した新レベル分類における、岩手県の判断基準については、以下のとおりとする。

	感染小初期	感染拡大初期	医療負荷増大期	医療機能不全期	
オミクロン株対応の新レベル分類	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	
レベル判断に関する事象	保健医療の負荷の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・診療・検査医療機関（発熱外来）の患者数が増え、負担が高まり始める ・救急外来の受診者数が増加する ・病床使用率、医療従事者の欠勤者数が増加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到する。重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生 ・救急搬送困難事例が増える ・入院患者が増加し、また医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・膨大な数の感染者に発熱外来や救急外来で対応しきれなくなり、一般外来にも患者が殺到する ・救急車を要請されても対応できない状況が発生する。通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態 ・膨大な数の感染者により入院が必要な中等症・重症の患者数の絶対数が著しく増加する ・多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫する ・入院できずに自宅療養中・施設内療養中に死亡する者が多数発生する ・通常診療を大きく制限せざるを得ない状態 	
	社会経済活動の状況	-	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の欠勤者が増加し、業務継続に支障を生じる事業者が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生する 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の欠勤者数が膨大になり社会インフラの維持に支障が生じる
	感染状況	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者数は低位で推移しているか、徐々に増加している状態 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者数が急速に増え始める 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の負荷を増大させるような数の感染者が発生する 	<ul style="list-style-type: none"> ・今冬の新型コロナウイルス感染症の想定を超える膨大な数の感染者が発生する
レベル判断に関する指標	病床使用率：概ね20～30%	病床使用率：概ね30～50%	病床使用率：概ね50%超 重症病床使用率：概ね50%超	病床使用率：概ね80%超 重症病床使用率：概ね80%超	